

一、其の年、其の月、日の時に、余れ鳩を捕る樹に登りて居る。鷲、嬰兒を

第八 縁

小墾田宮に宇御めたまひし天皇の代に、衣縫伴造義通といふ者有り。急に重き病を得て、両の耳並に聾ひ、悪しき瘡身に逼し。年を歴て愈えず。自づから謂はく「宿業の招ふ所なり。ただし現報のみにあらず。長く生きて人に厭はるよりは善を行ひて過に死なむに如かず」とおもひて、すなはち地を御き堂を飾り、義禪師を面請へ、まづ其の身を潔めて香水に澡浴みて、方広経に依る。是に希有なる想を發し、禪師に白して言さく「今我が片耳に一の菩薩の名を聞く。故にただし願はくは大徳、忍勞りてまた促せ」とまうす。禪師重ねて拝めば片耳既に開く。義通歡喜ひて、また重ねて礼まむことを請ふ。禪師更に拝めば両の耳俱開く。退く邇く聞く者、驚き怪びずといふことなし。是に知る、感心の道諒に虚しからず」と。

二、飛鳥川原坂草宮に宇御めたまひし天皇の世の癸卯年の春三月の頃に、但馬國七美郡の山里の人の家に嬰兒の女有り。中庭に飼飼ふ。鷲、擧りて空に騰がせりて東を指して翺りぬ。父母戀び側み哭き悲ひて追ひ求むれども、到る所を知らず。故に為に福を修る。八箇年を遡て、難破長柄豊前宮に宇御めたまひし天皇の世の庚戌年の秋八月の下旬に、鷲に子を擧られたる父、縁事有りて丹波後國加佐郡の部に至りて他の家に宿る。其の家の童女水を汲まむとして井に趣く。宿る人足を洗はむとして副ひ往きて見る。また村の童女井に集り水を汲みて、宿る家の童女の井を奪ふ。惜みて奪はしめず。其の村の童女等皆心を同じくして陵ぎ蔑りて曰はく「汝、鷲の啖殘なり。何故ぞ礼無き」といひて、罵り眠ひて打つ。拍たれて哭きて帰る。家主待ち問ひていはく「汝、何故ぞ哭く」といふ。宿る人見たる如く具に上の事を陳べて、すなはち彼の拍ち罵りて「鷲の啖殘なり」と曰ひたる所以を問ふ。家主答へて言はく「其れの年の其れの月日の時に、余れ鳩を捕る樹に登りて居る。鷲、嬰兒を

先祖。モ底本訓釈「依然(土音平(年か)反)訓、二合、急也」は、多くの誤写を含むであらう。元「海」は、上巻六縁の「河辺法師」を意識するか。

江の戦。三仏をさして「神祇」といつている。浅い処を得て海を渡る、といった説話は、觀音菩薩の信仰にかかわって示されることが多い。六上巻五縁に災を起す隣国の客神とされいてた仏が、本説話では災難を免れしむる神祇とされる。二三次市の寺町庵寺跡がその跡地とされる。造寺のイメーシは中巻九縁の「觀音於已所」に結びついている。六以上が、禪師弘法が僧監と禪師とを造立した事情である。元鑄造された金銅仏の鍍金には金アマルガムが用いられる。金と丹とは金アマルガムの原料であらう。三底本訓釈「喚久礼」。三所在不明。宇治造遺物譜「下・一八九にかはね嶋とみえる。三毛玉の説話に類似する(梨仲の指摘がある)。晉書・八十一に「初安在武昌、軍人有於市買得一白龜長四五寸、養之漸大、故謂江中一鄉城之敗、養龜人披羅持刀、自投於水中、如覺墮一石上、樹之、乃先所養白龜、長五六尺、送至東岸、遂得免焉」とあり、幽明錄にもみえる。龜に足を支えられて海を渡るイメーシは、下巻九縁の主人公が冥界の使に先導されて冥界の河を渡るイメーシに結びついている。三岡山景光町郡金光明寺あり。原文其備中清」とある(其は「於」の意か。二幽明録「硬觸而去。『その龜、三つ頭(て)て去りぬ』とをひきつれて波間に去た、と解し、四匹の龜を助けたので四匹が禪師を救済に來た、とする小泉道の説がある。その説に従うならば、三底本訓釈「依然(土音平(年か)反)訓、二合、急也」は、多くの誤写を含むであらう。元「海」は、上巻六縁の「河辺法師」を意識するか。

第八縁 善業についての現報話。二宝総、法五、扶略記、推古天皇条に引用。今昔物語集、十四、三十六に書来。底本訓釈「寶(見)之比太留」。二大通方広経典とある。下文の「方広経」もこの経。三未詳。本説話以外に所伝をみない。底本訓釈「體(彼此乃)」。四いかなる宿業か、という具とわかれることは、善行をおこなって早く死ぬと死とを比較し、「行善速死」をえらぶ。原文「為人所厭」。為一所」の文型で敬動が示されるばあ、為は平声で「一のところとなる」と訓むべきのだが、大坪伴治によれば訓点資料では「の」のために「と」を訓まれた例がなく、普通去声の「と」と考えられたか。本書では「の」のために「と」を訓まれた例はなく、上巻十一縁の「為人所厭」の底本訓釈に「遺毛乃爾」(履不方口(留か)とあることより推して、「に」に「と」と訓んでおく。六大通方広経滅罪莊嚴成公經、上に「若欲受持説請是經、當淨洗衣、著淨衣、淨三漏垢、以纏綿纏蓋、莊嚴室內」とある。七未詳。中巻十一縁にも同じ語がみえる。八底本訓釈「深浴(二加波安見文)」。九近藤其身、香水澡浴」というイメーシは、下巻十縁の「毎二大小便利、洗治淨身に結びつく。九大通方広機海

癸卯莊在蘇成山莊には「多可」の音讀がこねられた部分がある。二〇「原」の字は「教えてくたさう」という文脈で「人勸学教授」とみえる「勤学」と同意であらう。

第九縁 今昔物語集二十六ノ一に書承。扶桑略記・皇極天皇条に引用。

底本訓釈「頃足(三止利古)」。三底本訓釈「機取也」。三京泉高市郡春日村所在。飛鳥板蓋宮伝承地がある。底本訓釈「蓋」不支乃」。四皇極天皇二年(癸酉)。五兵庫県美濃地方方町、村岡あたり。二底本訓釈「備」。三底本訓釈「騰(安司利天)」。一底本訓釈指「左傳」。二飛鳥。底本訓釈「舊波布以改」。又云加分利奴」。新撰金鏡「舊波布以改、樹也、波布利伊奴」。三心から悲しむ意か。底本訓釈「懇阿可良之比天」。二底本訓釈「柳(麟大美)」は語訓。時王意然。三切懸柳(語見雄・一)。三原文「故為修」桓」。本説(略)で仏教にかかわる叙述はこのみ。三大阪市中心区に所在。難波宮跡がある。天皇は孝徳天皇。二白雉元年(癸酉)。三京都府舞鶴市加佐郡大江山あり。但馬國七美郡山里からは東の方角に當る。山背國愛宕郡雲下里計帳仲後三年)には「丹波前國多寶郡」かみえる。「丹波

三底本訓釈「重女(二合、女乃良良女)」。二底本訓釈「汲(八牟)」。二底本訓釈「井津留(ヘリ)」。説文解字は「井を井」の字形で掲げてくたさう」と説明されている。

「井を」の意に用いた例はみえないが、

2007

加佐郡大江町あたりにある。但馬國七美郡山里からは東の方角に當る。山背國愛宕郡雲下里計帳神後(三年)には「丹波前國多寶觀」かみえる。「丹波」といふ表記もおこなわれたであらう。

云底本訓釈「童女(二合、女乃良波)」。
云底本訓釈「汲久牟」。云底本訓釈「并津留ヘラ」。説文解字は、「井」を「井」の字形で掲出している。(井)は井言枠をかたじけなく、へはつるべをかたじけなく、と説明されている。「井」をつくるへの意に用いた例はみえないが、用

流(一)。三〇あなどる。底本訓釈「寝今之乃沢」。
三底本訓釈「莫奈奈都利天」。三底本訓釈「歌ノ食也」。三底本訓釈「歴ハ於曾飛」。三底本訓釈「垣宇太れ天」。三底本訓釈「捕取也」。この字に注があるのは不審。

一底本訓釈「與須爾」。奥を、訓まないため
訓釈標「恐也」。四底本訓釈「啼哭也」。三底本
五らかかい目る。六底本訓釈「咏津文波可(万
か)須」。七女子をその父に返した。八偶然
に。底本訓釈「邂逅上章解文下巨反、二合、
太乃左加爾」。九儒教的文飾といえよう。
親と子との關係を主題とする說話に「天」か述べ
られることが多い。

|||

豐者婦¹敬方²廣³典⁴得⁵報⁶聞⁷兩耳⁸緣⁹第八

小¹嬰田²宮³御⁴宇天皇⁵之代、有⁶衣縫⁷伴造⁸義通⁹者、急得¹⁰重病、兩耳並聾、要¹¹瘡遍¹²身、歷¹³年不¹⁴愈、自謂¹⁵宿業¹⁶所¹⁷招、非¹⁸但¹⁹現報、長生²⁰為人²¹所²²厭、不²³如²⁴行²⁵善²⁶過²⁷死、乃²⁸抑²⁹地師³⁰之堂、屈³¹請³²義禪³³師、先³⁴潔³⁵其身、香水³⁶澡³⁷浴、依³⁸方³⁹廣⁴⁰經、於是⁴¹免⁴²希⁴³有⁴⁴想、白⁴⁵禪師⁴⁶言、今⁴⁷我⁴⁸片耳、聞⁴⁹一⁵⁰音⁵¹薩⁵²名、故⁵³唯⁵⁴願⁵⁵大德、忍⁵⁶勞⁵⁷復⁵⁸促、禪師⁵⁹重⁶⁰拜、片耳既⁶¹開、義通⁶²歡⁶³喜、亦⁶⁴請⁶⁵重⁶⁶禮、禪師更⁶⁷拜、兩耳俱⁶⁸開、還⁶⁹邇⁷⁰聞⁷¹者、莫⁷²不⁷³驚⁷⁴怪、是⁷⁵知⁷⁶、感⁷⁷心⁷⁸之⁷⁹道、諒⁸⁰不⁸¹虛⁸²矣、

嬰兒¹驚²所³擲⁴以⁵他⁶國⁷得⁸逢⁹父¹⁰緣¹¹第九

飛¹鳥²川³原⁴板⁵葦⁶宮⁷御⁸宇天皇⁹之世¹⁰癸卯¹¹年¹²春¹³三¹⁴月¹⁵頃¹⁶、但¹⁷馬¹⁸國¹⁹七²⁰美²¹郡²²、山²³里²⁴人²⁵家²⁶、有²⁷嬰²⁸兒²⁹女³⁰、中庭³¹匍³²匐³³、驚³⁴擲³⁵空³⁶、指³⁷東³⁸而³⁹翫⁴⁰、父⁴¹母⁴²懇⁴³惻⁴⁴、哭⁴⁵悲⁴⁶追⁴⁷求、不⁴⁸知⁴⁹所⁵⁰到、故⁵¹為⁵²修⁵³福⁵⁴、逕⁵⁵入⁵⁶箇波⁵⁷後⁵⁸國⁵⁹加⁶⁰佐⁶¹郡⁶²部⁶³內⁶⁴、宿⁶⁵于⁶⁶他⁶⁷家⁶⁸、其⁶⁹家⁷⁰童⁷¹女⁷²、汲⁷³水⁷⁴趣⁷⁵井⁷⁶、宿⁷⁷人⁷⁸洗⁷⁹足⁸⁰、副⁸¹往⁸²見⁸³之⁸⁴、亦⁸⁵村⁸⁶童⁸⁷女⁸⁸、集⁸⁹井⁹⁰汲⁹¹水⁹²、而⁹³奪⁹⁴宿⁹⁵家⁹⁶童⁹⁷女⁹⁸之⁹⁹舟¹⁰⁰、惜¹⁰¹不¹⁰²令¹⁰³奪¹⁰⁴、其¹⁰⁵村¹⁰⁶童¹⁰⁷女¹⁰⁸、等¹⁰⁹皆¹¹⁰同¹¹¹心¹¹²、陵¹¹³蔑¹¹⁴之¹¹⁵曰¹¹⁶、汝¹¹⁷驚¹¹⁸敵¹¹⁹殘¹²⁰、何¹²¹故¹²²無¹²³禮¹²⁴、罵¹²⁵厭¹²⁶而¹²⁷打¹²⁸、所¹²⁹拍¹³⁰哭¹³¹啼¹³²、家¹³³主¹³⁴待¹³⁵問¹³⁶、汝¹³⁷何¹³⁸故¹³⁹哭¹⁴⁰、宿¹⁴¹人¹⁴²如¹⁴³見¹⁴⁴具¹⁴⁵陳¹⁴⁶上¹⁴⁷事¹⁴⁸、即¹⁴⁹問¹⁵⁰所以¹⁵¹、彼¹⁵²拍¹⁵³罵¹⁵⁴曰¹⁵⁵驚¹⁵⁶敵¹⁵⁷殘¹⁵⁸也¹⁵⁹、家¹⁶⁰主¹⁶¹答¹⁶²言¹⁶³、其¹⁶⁴年¹⁶⁵其¹⁶⁶月¹⁶⁷日¹⁶⁸之¹⁶⁹時¹⁷⁰、余¹⁷¹登¹⁷²于¹⁷³捕¹⁷⁴鳩¹⁷⁵之¹⁷⁶樹¹⁷⁷而¹⁷⁸居¹⁷⁹、驚¹⁸⁰擲¹⁸¹嬰¹⁸²兒¹⁸³、從¹⁸⁴西¹⁸⁵而¹⁸⁶來¹⁸⁷、落¹⁸⁸吳¹⁸⁹養¹⁹⁰雛¹⁹¹、嬰¹⁹²兒¹⁹³懷¹⁹⁴啼¹⁹⁵、彼¹⁹⁶雛¹⁹⁷望¹⁹⁸之¹⁹⁹、驚²⁰⁰恐²⁰¹不²⁰²啄²⁰³、余²⁰⁴聞²⁰⁵啼²⁰⁶音²⁰⁷、自²⁰⁸自²⁰⁹取²¹⁰下²¹¹、育²¹²女²¹³子²¹⁴是²¹⁵也²¹⁶、是²¹⁷奇²¹⁸異²¹⁹之²²⁰事²²¹矣²²²、

倭¹用²子³物⁴作⁵牛⁶役⁷之⁸示⁹異¹⁰表¹¹緣¹²第十

大¹和²國³添⁴上⁵郡⁶山⁷村⁸中⁹里¹⁰、在¹¹昔¹²有¹³掠¹⁴家¹⁵長¹⁶公¹⁷、當¹⁸十¹⁹二²⁰月²¹、依²²方²³廣²⁴經²⁵、欲²⁶先²⁷懺²⁸罪²⁹、告³⁰使³¹人³²云³³、應³⁴請³⁵一³⁶禪³⁷師³⁸、其³⁹使⁴⁰人⁴¹問⁴²曰⁴³、請⁴⁴何⁴⁵寺⁴⁶師⁴⁷、答⁴⁸曰⁴⁹、不⁵⁰厭⁵¹其⁵²寺⁵³、隨⁵⁴遇⁵⁵而⁵⁶請⁵⁷、其⁵⁸使⁵⁹隨⁶⁰願⁶¹、請⁶²得⁶³路⁶⁴行⁶⁵一⁶⁶僧⁶⁷傭⁶⁸家⁶⁹、々⁷⁰主⁷¹住⁷²心⁷³供⁷⁴養⁷⁵、其⁷⁶夜⁷⁷禮⁷⁸經⁷⁹已⁸⁰訖⁸¹、僧⁸²將⁸³息⁸⁴時⁸⁵、檀⁸⁶主⁸⁷設⁸⁸以⁸⁹被⁹⁰覆⁹¹之⁹²、僧⁹³即⁹⁴心⁹⁵念⁹⁶、明⁹⁷日⁹⁸得⁹⁹物¹⁰⁰、不¹⁰¹如¹⁰²取¹⁰³被¹⁰⁴而¹⁰⁵出¹⁰⁶、時¹⁰⁷有¹⁰⁸聲¹⁰⁹而¹¹⁰言¹¹¹、莫¹¹²盜¹¹³其¹¹⁴被¹¹⁵、僧¹¹⁶大¹¹⁷驚¹¹⁸疑¹¹⁹、顧¹²⁰窺¹²¹家¹²²中¹²³、覓¹²⁴人¹²⁵、唯¹²⁶有¹²⁷一¹²⁸牛¹²⁹、立¹³⁰家¹³¹倉¹³²下¹³³、僧¹³⁴進¹³⁵牛¹³⁶邊¹³⁷、牛¹³⁸語¹³⁹僧¹⁴⁰言¹⁴¹、吾¹⁴²者¹⁴³此¹⁴⁴家¹⁴⁵長¹⁴⁶之¹⁴⁷父¹⁴⁸也¹⁴⁹、而¹⁵⁰吾¹⁵¹先¹⁵²世¹⁵³、為¹⁵⁴欲¹⁵⁵與¹⁵⁶人¹⁵⁷、不¹⁵⁸告¹⁵⁹吾¹⁶⁰子¹⁶¹、取¹⁶²福¹⁶³十¹⁶⁴束¹⁶⁵、所¹⁶⁶以¹⁶⁷今¹⁶⁸受¹⁶⁹牛¹⁷⁰身¹⁷¹、而¹⁷²償¹⁷³先¹⁷⁴債¹⁷⁵、汝¹⁷⁶是¹⁷⁷出¹⁷⁸家¹⁷⁹、何¹⁸⁰輒¹⁸¹盜¹⁸²被¹⁸³乎¹⁸⁴、欲¹⁸⁵知¹⁸⁶其¹⁸⁷事¹⁸⁸虛¹⁸⁹實¹⁹⁰、為¹⁹¹我¹⁹²說¹⁹³坐¹⁹⁴、我¹⁹⁵當¹⁹⁶上¹⁹⁷居¹⁹⁸、應¹⁹⁹知²⁰⁰其²⁰¹父²⁰²、於²⁰³是²⁰⁴僧²⁰⁵即²⁰⁶大²⁰⁷愧²⁰⁸、還²⁰⁹止²¹⁰宿²¹¹處²¹²、明²¹³朝²¹⁴事²¹⁵行²¹⁶、既²¹⁷訖²¹⁸之²¹⁹曰²²⁰、令²²¹他²²²人²²³遠²²⁴却²²⁵、然²²⁶後²²⁷召²²⁸集²²⁹親²³⁰族²³¹、具²³²陳²³³先²³⁴事²³⁵、檀²³⁶越²³⁷即²³⁸起²³⁹悲²⁴⁰心²⁴¹、而²⁴²就²⁴³牛²⁴⁴邊²⁴⁵、數²⁴⁶懷²⁴⁷自²⁴⁸言²⁴⁹、實²⁵⁰吾²⁵¹父²⁵²者²⁵³、可²⁵⁴就²⁵⁵此²⁵⁶座²⁵⁷、牛²⁵⁸屈²⁵⁹膝²⁶⁰而²⁶¹臥²⁶²座²⁶³上²⁶⁴者²⁶⁵、諸²⁶⁶親²⁶⁷出²⁶⁸聲²⁶⁹、大²⁷⁰啼²⁷¹泣²⁷²言²⁷³、實²⁷⁴吾²⁷⁵父²⁷⁶矣²⁷⁷、便²⁷⁸起²⁷⁹禮²⁸⁰拜²⁸¹、而²⁸²白²⁸³牛²⁸⁴言²⁸⁵、先²⁸⁶時²⁸⁷所²⁸⁸用²⁸⁹、今²⁹⁰咸²⁹¹奉²⁹²免²⁹³、牛²⁹⁴聞²⁹⁵之²⁹⁶、流²⁹⁷淚²⁹⁸大²⁹⁹息³⁰⁰、即³⁰¹日³⁰²申³⁰³時³⁰⁴命³⁰⁵終³⁰⁶、然³⁰⁷後³⁰⁸以³⁰⁹覆³¹⁰被³¹¹及³¹²財³¹³物³¹⁴、而³¹⁵施³¹⁶其³¹⁷師³¹⁸、更³¹⁹為³²⁰其³²¹父³²²、廣³²³修³²⁴功³²⁵德³²⁶、因³²⁷果³²⁸之³²⁹理³³⁰、豈³³¹不³³²信³³³哉³³⁴、

- 1 小¹之²國³一⁴ナシ
2 之⁵國⁶一⁷ナシ
3 義⁸者⁹一¹⁰ナシ
4 義¹¹者¹²一¹³ナシ
5 欲¹⁴業¹⁵乘¹⁶一¹⁷ナシ
6 禮¹⁸禪¹⁹師²⁰國²¹一²²ナシ
7 俱²³開²⁴國²⁵恒²⁶開²⁷一²⁸ナシ
8 邇²⁹國³⁰一³¹ナシ

- 1 擲¹與²取³也⁴・國⁵擲⁶一⁷ナシ
2 以⁸國⁹一¹⁰ナシ
3 擲¹¹國¹²一¹³ナシ
4 空¹⁴國¹⁵一¹⁶ナシ
5 義¹⁷與¹⁸義¹⁹波²⁰布²¹以²²奴²³・又²⁴云²⁵加²⁶介²⁷利²⁸奴²⁹・國³⁰者³¹羽³²一³³ナシ

- 7 擲¹子²之³國⁴擲⁵子⁶之⁷一⁸ナシ
8 丹⁹國¹⁰一¹¹ナシ
9 佐¹²國¹³一¹⁴ナシ
10 作¹⁵國¹⁶一¹⁷ナシ
11 水¹⁸國¹⁹一²⁰ナシ
12 洗²¹國²²一²³ナシ
13 亦²⁴村²⁵國²⁶一²⁷ナシ
14 井²⁸國²⁹一³⁰ナシ
15 拍³¹與³²拍³³宇³⁴太³⁵礼³⁶天³⁷・國³⁸指³⁹一⁴⁰ナシ

- 16 拍¹與²拍³宇⁴太⁵礼⁶天⁷・國⁸指⁹一¹⁰ナシ
17 擲¹¹樹¹²國¹³一¹⁴ナシ
18 擲¹⁵國¹⁶一¹⁷ナシ
19 而¹⁸國¹⁹一²⁰ナシ
20 落²¹國²²一²³ナシ

- 21 擲¹國²一³ナシ
22 今⁴令⁵一⁶ナシ
23 擲⁷國⁸一⁹ナシ
24 而¹⁰許¹¹國¹²一¹³ナシ
25 父¹⁴又¹⁵一¹⁶ナシ

- 1 在¹昔²有³國⁴昔⁵有⁶在⁷一⁸有⁹昔¹⁰云¹¹ナシ
2 請¹²國¹³一¹⁴ナシ
3 寺¹⁵一¹⁶ナシ
4 被¹⁷國¹⁸一¹⁹ナシ
5 取²⁰國²¹一²²ナシ
6 生²³語²⁴傳²⁵言²⁶國²⁷生²⁸語²⁹傳³⁰言³¹一³²ナシ
7 音³³國³⁴一³⁵ナシ
8 知³⁶國³⁷一³⁸ナシ
9 坐³⁹國⁴⁰一⁴¹ナシ
10 明⁴²國⁴³一⁴⁴ナシ
11 可⁴⁵國⁴⁶一⁴⁷ナシ
12 白⁴⁸國⁴⁹一⁵⁰ナシ